

前橋工科大学 採用案内

令和4年4月1日採用

前橋工科大学が求める人材

- 新たに発生する課題、中期計画※1の記載事項等に適確に対応し、大学の諸課題に対して柔軟かつ迅速に対応できる職員
- 大学事務のエキスパートとしての自覚を持ち、絶えず研鑽に努めることができる職員

※1 公立大学法人である本学は、設立団体の前橋市から達成すべき「中期目標」が示され、それに基づいた「中期計画」を作成し、業務を遂行しています。



371-0816
群馬県前橋市
上佐鳥町 460-1

電話番号:027-265-0111
FAX 番号:027-265-3837
e-mail:jimu@maebashi-
it.ac.jp



公立大学法人
前橋工科大学
Maebashi Institute of Technology

<https://www.maebashi-it.ac.jp/>

前橋工科大学概要

● 沿革

昭和 27 年に本学の前身である市立工業短期大学が前橋市により開学、平成 9 年には四年制の前橋工科大学へと移行しました。平成 25 年には時代の流れにより、前橋市を設置団体とする公立大学法人が運営する大学となりました。全国でも数が少ない工学部だけの公立単科大学で、現在 6 学科で構成されています。令和 4 年度からは、6 学科体制から 2 学群体制へと移行する計画となっています（認可申請中）。

● 大学の理念等

大学の理念に「地域と社会の発展と福祉に貢献する工学を追求する。」とあり、公立大学である本学は、地域社会のために工学を研究することを理念としています。また、大学の目標には、「人間性および創造性豊かな技術者を育成するとともに、（中略）活気に満ちた地域社会構築の一翼を担う知的創造拠点としての役割を果たす。」とあり、地域社会に優秀な技術者を輩出するための教育と、地域社会のための研究を行うことを主眼としています。

● コンパクトな大学

本学は単科大学でキャンパスが 1 か所と、コンパクトにまとまっています。小さい大学のため、学生、教員、職員のそれぞれの距離がとても近い大学です。

● 学科再編

全国の大学を取り巻く環境は、18 歳人口の減少により厳しくなっており、入学者を確保することが困難になっています。また、地域社会から求められる人材の育成の必要性など、時代の変化に対応するため、本学は令和 4 年度から学科を再編することと決定しました。

これまでの 6 学科での専門性を活かしつつ、学修の幅を広げるため、6 学科を 2 学群（学科相当）に大括り化し、また、地域社会の人材ニーズに応えるため、全学生向けに工学基礎科目として情報・デザインに関する科目を取り入れ、社会から求められる工学能力を備えた人材を育成することとしました。また、総合デザイン工学科の夜間主開講を廃止し、学部の教育は全て昼間開講にすることとしました。

大学教職員体制（令和 3 年時点）

● 教員 67 人

社会環境工学科 10 人

建築学科 11 人

生命情報学科 10 人

システム生体工学科 10 人

生物工学科 9 人

総合デザイン工学科(基礎教育センターを含む。) 15 人

教職センター 2 人

● 職員 47 人

正規職員 30 人(前橋市等派遣職員 25 人、大学職員 5 人)

有期雇用職員 17 人



大学事務局概要

大学事務局には正規職員が 30 人おり、うち 25 人が前橋市等からの派遣職員で、残りの 5 人が大学雇用の職員となります。事務局は、総務課と学務課で構成されています。今回試験に合格した方は大学雇用の職員となり、いずれかの課・係に所属することとなります。

● 総務課

総務企画係…大学全体の方針を決定する業務、給料の支払などの庶務的な業務を行っています。

財務係…大学の予算編成、物品の購入や支払事務など、大学の財務面をつかさどる業務を行っています。

施設管理係…施設の整備や管理、大学附属図書館の管理運営の業務を行っています。

● 学務課

教務係…授業の時間割の作成、学生の授業の履修登録や卒業証明書などの発行業務等を行っています。

学生支援係…学生の部活動に関する業務、保健室に関する業務など、学生の支援や窓口の業務を行っています。

入試係…大学入試の業務、入試の広報などの業務を行っています。

地域貢献・研究支援係…地域に貢献する業務、企業と大学の研究を結びつける業務を行っています。

給与・福利厚生等

本学の給与・福利厚生等は設置団体である前橋市に準拠しており、前橋市職員とほとんど同じです。ただし、身分は公務員ではありません。

・初任給（給料は、採用以前の職歴等を考慮し、規程等により決定します。）

187,200 円（大学卒 22 歳職歴なしの場合）

・諸手当

地域手当、通勤手当、扶養手当、住居手当、時間外勤務手当、期末勤勉手当等

・勤務時間

1 日 7 時間 45 分、週 38 時間 45 分

原則として午前 8 時 30 分から午後 5 時 15 分まで。

ただし、シフト勤務（午後 0 時 45 分から午後 9 時 30 分まで 他）あり

・休日

土、日曜日、祝日、年末年始。ただし、土曜当番、休日授業、入試業務等により勤務となる場合あり

年次有給休暇：1 年度につき 20 日

特別休暇：夏季休暇、結婚休暇等

・福利厚生

社会保険（公立学校共済組合）、災害補償（地方公務員災害補償）、雇用保険

受験資格

昭和 57 年 4 月 2 日から平成 12 年 4 月 1 日までに生まれた人（長期勤続によるキャリア形成を図る観点から、年齢制限を設けます。）

詳細については、試験実施要項で確認してください。

申込期間・試験日

・申込受付期間

令和 3 年 7 月 16 日（金）から 7 月 30 日（金）まで

・第 1 次試験日（筆記）

令和 3 年 8 月 29 日（日）

・第 2 次試験日（面接予定）

令和 3 年 10 月上旬

・第 3 次試験日（面接予定）

令和 3 年 11 月上旬

採用予定人数

若干人